

拓水

題字は 泉漁連三浦会長

12月号

No. 159

発行所 泉漁連三浦会長
 兵庫東漁業協同組合連合会 123
 兵庫東水産改良普及協会 太
 神戸市兵庫区新在家 6954
 発行人 三浦清 編集委員
 TEL 6685 印刷委員
 編集 拓水編集委員会
 発行日 毎月 30日
 一部10円

昭和32年10月18日
第3種郵便物認可

「泉水産界」今年のあしあと

人類が月に二度も立った。夢が現実になったのだ。二十世紀に生まれ合わせた我々はその事実を眼のあたりに見せつけられた。宇宙科学の発達を我々を改めて叱咤した。そしてさらに前進を続けているのだ。

彼等が宇宙のトリコになってその開発に挑むならば、我々は無限の海に飛びこんで行かねばなるまい。そこには未だ解明されていない、それこそ無限の夢が待っているのだ。

「新しい水産時代の黎明」これはたしか本誌新年号のキャッチフレーズだった。そして一年は去った。公害等の問題もあつた。しかしその間にも積極的の海洋開発の夢実現の施策が実施されてきたことはまことに喜ばしい。

これからはどんな些細な漁業をやっていくようと、海に生きる者は必ず夢を持つ。夢が夢でなくなる事実をアポロが立派に証明してくれたのだ。

新しい年に大きな夢を託しながら、心から「昭和四十四年よ、さようなら」と言おうではないか。

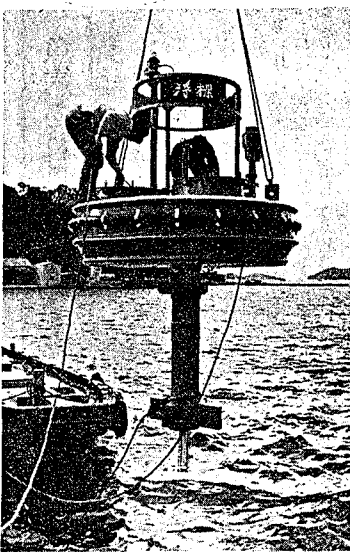
人類が月に二度も立った。夢が現実になったのだ。二十世紀に生まれ合わせた我々はその事実を眼のあたりに見せつけられた。宇宙科学の発達を我々を改めて叱咤した。そしてさらに前進を続けているのだ。

彼等が宇宙のトリコになってその開発に挑むならば、我々は無限の海に飛びこんで行かねばなるまい。そこには未だ解明されていない、それこそ無限の夢が待っているのだ。

「新しい水産時代の黎明」これはたしか本誌新年号のキャッチフレーズだった。そして一年は去った。公害等の問題もあつた。しかしその間にも積極的の海洋開発の夢実現の施策が実施されてきたことはまことに喜ばしい。

これからはどんな些細な漁業をやっていくようと、海に生きる者は必ず夢を持つ。夢が夢でなくなる事実をアポロが立派に証明してくれたのだ。

新しい年に大きな夢を託しながら、心から「昭和四十四年よ、さようなら」と言おうではないか。



培養魚礁集餌灯浮標 (神戸新聞社提供)

●漁業近代化資金制度発足

沿岸漁民が久しく要望してきた。本年七月閣議で可決された。本年七月閣議で可決された。本年七月閣議で可決された。本年七月閣議で可決された。

沿岸漁民が久しく要望してきた。本年七月閣議で可決された。本年七月閣議で可決された。本年七月閣議で可決された。本年七月閣議で可決された。

沿岸漁民が久しく要望してきた。本年七月閣議で可決された。本年七月閣議で可決された。本年七月閣議で可決された。本年七月閣議で可決された。

●水試但馬分場竣工

同分場の建設は地元から要請もあり、多年の懸案であったが本年五月香住町(豊岡農林事務所水産課敷地内)に新しく誕生した。同分場は新田馬丸(一八・六七)の就航を機に日本海における新漁場の開発をはじめ、既成漁場の精密調査及び地元水産加工技術の開発試験と技術指導を主軸として活動して

●集餌灯浮標完成

水産動植物の繁殖保護を目的に、御津町新津津に計画中であった培養魚礁の集餌灯浮標が十一月二十五日完成、海中に明りが点つた。

●油回収船の起工

流出油による公害は何時も起るかわからない。とくに近年内海はノリブームで至るところノリ網が張られておる。この流出油による被害が、これに對して県でも種々の施策が講じられてきたが、このたび全国でも始められた「油回収船」の起工が、計画され、去る十一月十七日造船所で起工された。

●沖合ノリ養殖漁場の造成に着手

沖合ノリ養殖漁場開発のため、かねて計画しておられたが、去る十一月から着手された。

●種苗センターの工事すむ

人工生産した種苗を漁民が養殖に活用するために、神戸市兵庫区新在家に建設された種苗センターの工事、去る十一月に完了した。

●小型船舶操縦士の免許者ぞくぞく誕生

運輸省からの通達で、五トン未満の小型船舶に「釣客を乗せる漁船」に対して、いよいよ昭和四十五年七月一日から小型船舶操縦士の免許者ぞくぞく誕生することになった。その為昨年からは、免状を受けた人の乗組みが義務付けられることになった。その為昨年からは、免状を受けた人の乗組みが義務付けられることになった。



●瀬戸内海漁業の振興開発に関する提言

近年瀬戸内海工業の急速な進展により多種多様な公害環境は漁業等漁業の一方的犠牲によって、漁業は開発されれば経済は高度成長を上げてきた。これに對し、国民の蛋白質需要をこたえ、生鮮にして良質な魚貝類を供給しては、瀬戸内海においは、もはや基本的には、以上漁業が消滅し、漁業が損失をうけ、漁業者の生活が維持できなくなる。各地域漁業が奪取される。各地域漁業が奪取される。各地域漁業が奪取される。

●沖合ノリ養殖漁場の造成に着手

沖合ノリ養殖漁場開発のため、かねて計画しておられたが、去る十一月から着手された。

●種苗センターの工事すむ

人工生産した種苗を漁民が養殖に活用するために、神戸市兵庫区新在家に建設された種苗センターの工事、去る十一月に完了した。

●小型船舶操縦士の免許者ぞくぞく誕生

運輸省からの通達で、五トン未満の小型船舶に「釣客を乗せる漁船」に対して、いよいよ昭和四十五年七月一日から小型船舶操縦士の免許者ぞくぞく誕生することになった。その為昨年からは、免状を受けた人の乗組みが義務付けられることになった。その為昨年からは、免状を受けた人の乗組みが義務付けられることになった。

●油回収船の起工

流出油による公害は何時も起るかわからない。とくに近年内海はノリブームで至るところノリ網が張られておる。この流出油による被害が、これに對して県でも種々の施策が講じられてきたが、このたび全国でも始められた「油回収船」の起工が、計画され、去る十一月十七日造船所で起工された。

●沖合ノリ養殖漁場の造成に着手

沖合ノリ養殖漁場開発のため、かねて計画しておられたが、去る十一月から着手された。

●種苗センターの工事すむ

人工生産した種苗を漁民が養殖に活用するために、神戸市兵庫区新在家に建設された種苗センターの工事、去る十一月に完了した。

●小型船舶操縦士の免許者ぞくぞく誕生

運輸省からの通達で、五トン未満の小型船舶に「釣客を乗せる漁船」に対して、いよいよ昭和四十五年七月一日から小型船舶操縦士の免許者ぞくぞく誕生することになった。その為昨年からは、免状を受けた人の乗組みが義務付けられることになった。その為昨年からは、免状を受けた人の乗組みが義務付けられることになった。

●種苗センターの工事すむ

人工生産した種苗を漁民が養殖に活用するために、神戸市兵庫区新在家に建設された種苗センターの工事、去る十一月に完了した。

●小型船舶操縦士の免許者ぞくぞく誕生

運輸省からの通達で、五トン未満の小型船舶に「釣客を乗せる漁船」に対して、いよいよ昭和四十五年七月一日から小型船舶操縦士の免許者ぞくぞく誕生することになった。その為昨年からは、免状を受けた人の乗組みが義務付けられることになった。その為昨年からは、免状を受けた人の乗組みが義務付けられることになった。

●油回収船の起工

流出油による公害は何時も起るかわからない。とくに近年内海はノリブームで至るところノリ網が張られておる。この流出油による被害が、これに對して県でも種々の施策が講じられてきたが、このたび全国でも始められた「油回収船」の起工が、計画され、去る十一月十七日造船所で起工された。

●沖合ノリ養殖漁場の造成に着手

沖合ノリ養殖漁場開発のため、かねて計画しておられたが、去る十一月から着手された。

●種苗センターの工事すむ

人工生産した種苗を漁民が養殖に活用するために、神戸市兵庫区新在家に建設された種苗センターの工事、去る十一月に完了した。

●小型船舶操縦士の免許者ぞくぞく誕生

運輸省からの通達で、五トン未満の小型船舶に「釣客を乗せる漁船」に対して、いよいよ昭和四十五年七月一日から小型船舶操縦士の免許者ぞくぞく誕生することになった。その為昨年からは、免状を受けた人の乗組みが義務付けられることになった。その為昨年からは、免状を受けた人の乗組みが義務付けられることになった。

●種苗センターの工事すむ

人工生産した種苗を漁民が養殖に活用するために、神戸市兵庫区新在家に建設された種苗センターの工事、去る十一月に完了した。

●小型船舶操縦士の免許者ぞくぞく誕生

運輸省からの通達で、五トン未満の小型船舶に「釣客を乗せる漁船」に対して、いよいよ昭和四十五年七月一日から小型船舶操縦士の免許者ぞくぞく誕生することになった。その為昨年からは、免状を受けた人の乗組みが義務付けられることになった。その為昨年からは、免状を受けた人の乗組みが義務付けられることになった。

●水試但馬分場竣工

同分場の建設は地元から要請もあり、多年の懸案であったが本年五月香住町(豊岡農林事務所水産課敷地内)に新しく誕生した。同分場は新田馬丸(一八・六七)の就航を機に日本海における新漁場の開発をはじめ、既成漁場の精密調査及び地元水産加工技術の開発試験と技術指導を主軸として活動して

●集餌灯浮標完成

水産動植物の繁殖保護を目的に、御津町新津津に計画中であった培養魚礁の集餌灯浮標が十一月二十五日完成、海中に明りが点つた。

●油回収船の起工

流出油による公害は何時も起るかわからない。とくに近年内海はノリブームで至るところノリ網が張られておる。この流出油による被害が、これに對して県でも種々の施策が講じられてきたが、このたび全国でも始められた「油回収船」の起工が、計画され、去る十一月十七日造船所で起工された。

●沖合ノリ養殖漁場の造成に着手

沖合ノリ養殖漁場開発のため、かねて計画しておられたが、去る十一月から着手された。

●種苗センターの工事すむ

人工生産した種苗を漁民が養殖に活用するために、神戸市兵庫区新在家に建設された種苗センターの工事、去る十一月に完了した。

●小型船舶操縦士の免許者ぞくぞく誕生

運輸省からの通達で、五トン未満の小型船舶に「釣客を乗せる漁船」に対して、いよいよ昭和四十五年七月一日から小型船舶操縦士の免許者ぞくぞく誕生することになった。その為昨年からは、免状を受けた人の乗組みが義務付けられることになった。その為昨年からは、免状を受けた人の乗組みが義務付けられることになった。



●瀬戸内海漁業の振興開発に関する提言

近年瀬戸内海工業の急速な進展により多種多様な公害環境は漁業等漁業の一方的犠牲によって、漁業は開発されれば経済は高度成長を上げてきた。これに對し、国民の蛋白質需要をこたえ、生鮮にして良質な魚貝類を供給しては、瀬戸内海においは、もはや基本的には、以上漁業が消滅し、漁業が損失をうけ、漁業者の生活が維持できなくなる。各地域漁業が奪取される。各地域漁業が奪取される。各地域漁業が奪取される。

●沖合ノリ養殖漁場の造成に着手

沖合ノリ養殖漁場開発のため、かねて計画しておられたが、去る十一月から着手された。

●種苗センターの工事すむ

人工生産した種苗を漁民が養殖に活用するために、神戸市兵庫区新在家に建設された種苗センターの工事、去る十一月に完了した。

●小型船舶操縦士の免許者ぞくぞく誕生

運輸省からの通達で、五トン未満の小型船舶に「釣客を乗せる漁船」に対して、いよいよ昭和四十五年七月一日から小型船舶操縦士の免許者ぞくぞく誕生することになった。その為昨年からは、免状を受けた人の乗組みが義務付けられることになった。その為昨年からは、免状を受けた人の乗組みが義務付けられることになった。

●種苗センターの工事すむ

人工生産した種苗を漁民が養殖に活用するために、神戸市兵庫区新在家に建設された種苗センターの工事、去る十一月に完了した。

●小型船舶操縦士の免許者ぞくぞく誕生

運輸省からの通達で、五トン未満の小型船舶に「釣客を乗せる漁船」に対して、いよいよ昭和四十五年七月一日から小型船舶操縦士の免許者ぞくぞく誕生することになった。その為昨年からは、免状を受けた人の乗組みが義務付けられることになった。その為昨年からは、免状を受けた人の乗組みが義務付けられることになった。

●油回収船の起工

流出油による公害は何時も起るかわからない。とくに近年内海はノリブームで至るところノリ網が張られておる。この流出油による被害が、これに對して県でも種々の施策が講じられてきたが、このたび全国でも始められた「油回収船」の起工が、計画され、去る十一月十七日造船所で起工された。

●沖合ノリ養殖漁場の造成に着手

沖合ノリ養殖漁場開発のため、かねて計画しておられたが、去る十一月から着手された。

●種苗センターの工事すむ

人工生産した種苗を漁民が養殖に活用するために、神戸市兵庫区新在家に建設された種苗センターの工事、去る十一月に完了した。

●小型船舶操縦士の免許者ぞくぞく誕生

運輸省からの通達で、五トン未満の小型船舶に「釣客を乗せる漁船」に対して、いよいよ昭和四十五年七月一日から小型船舶操縦士の免許者ぞくぞく誕生することになった。その為昨年からは、免状を受けた人の乗組みが義務付けられることになった。その為昨年からは、免状を受けた人の乗組みが義務付けられることになった。

●種苗センターの工事すむ

人工生産した種苗を漁民が養殖に活用するために、神戸市兵庫区新在家に建設された種苗センターの工事、去る十一月に完了した。

●小型船舶操縦士の免許者ぞくぞく誕生

運輸省からの通達で、五トン未満の小型船舶に「釣客を乗せる漁船」に対して、いよいよ昭和四十五年七月一日から小型船舶操縦士の免許者ぞくぞく誕生することになった。その為昨年からは、免状を受けた人の乗組みが義務付けられることになった。その為昨年からは、免状を受けた人の乗組みが義務付けられることになった。

●油回収船の起工

流出油による公害は何時も起るかわからない。とくに近年内海はノリブームで至るところノリ網が張られておる。この流出油による被害が、これに對して県でも種々の施策が講じられてきたが、このたび全国でも始められた「油回収船」の起工が、計画され、去る十一月十七日造船所で起工された。

●沖合ノリ養殖漁場の造成に着手

沖合ノリ養殖漁場開発のため、かねて計画しておられたが、去る十一月から着手された。

●種苗センターの工事すむ

人工生産した種苗を漁民が養殖に活用するために、神戸市兵庫区新在家に建設された種苗センターの工事、去る十一月に完了した。

●小型船舶操縦士の免許者ぞくぞく誕生

運輸省からの通達で、五トン未満の小型船舶に「釣客を乗せる漁船」に対して、いよいよ昭和四十五年七月一日から小型船舶操縦士の免許者ぞくぞく誕生することになった。その為昨年からは、免状を受けた人の乗組みが義務付けられることになった。その為昨年からは、免状を受けた人の乗組みが義務付けられることになった。

●種苗センターの工事すむ

人工生産した種苗を漁民が養殖に活用するために、神戸市兵庫区新在家に建設された種苗センターの工事、去る十一月に完了した。

●小型船舶操縦士の免許者ぞくぞく誕生

運輸省からの通達で、五トン未満の小型船舶に「釣客を乗せる漁船」に対して、いよいよ昭和四十五年七月一日から小型船舶操縦士の免許者ぞくぞく誕生することになった。その為昨年からは、免状を受けた人の乗組みが義務付けられることになった。その為昨年からは、免状を受けた人の乗組みが義務付けられることになった。

●油回収船の起工

流出油による公害は何時も起るかわからない。とくに近年内海はノリブームで至るところノリ網が張られておる。この流出油による被害が、これに對して県でも種々の施策が講じられてきたが、このたび全国でも始められた「油回収船」の起工が、計画され、去る十一月十七日造船所で起工された。

●沖合ノリ養殖漁場の造成に着手

沖合ノリ養殖漁場開発のため、かねて計画しておられたが、去る十一月から着手された。

●種苗センターの工事すむ

人工生産した種苗を漁民が養殖に活用するために、神戸市兵庫区新在家に建設された種苗センターの工事、去る十一月に完了した。

●小型船舶操縦士の免許者ぞくぞく誕生

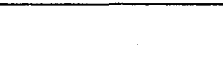
運輸省からの通達で、五トン未満の小型船舶に「釣客を乗せる漁船」に対して、いよいよ昭和四十五年七月一日から小型船舶操縦士の免許者ぞくぞく誕生することになった。その為昨年からは、免状を受けた人の乗組みが義務付けられることになった。その為昨年からは、免状を受けた人の乗組みが義務付けられることになった。

●種苗センターの工事すむ

人工生産した種苗を漁民が養殖に活用するために、神戸市兵庫区新在家に建設された種苗センターの工事、去る十一月に完了した。

●小型船舶操縦士の免許者ぞくぞく誕生

運輸省からの通達で、五トン未満の小型船舶に「釣客を乗せる漁船」に対して、いよいよ昭和四十五年七月一日から小型船舶操縦士の免許者ぞくぞく誕生することになった。その為昨年からは、免状を受けた人の乗組みが義務付けられることになった。その為昨年からは、免状を受けた人の乗組みが義務付けられることになった。



11月の漁況と海況 (内海側)

◎海況

11月上旬の海洋観測結果では大阪湾表層18.5°C~20.1°C、10m層19.1°C~20.1°C、底層20°C内外で平均にくらべ、北部で0.5°C、南部で1.0°C内外低目となっている。一方播磨灘では全域各層共に19.3°C~20.0°Cで平均にくらべ1.0°C~1.5°C低く大阪湾より平均差ではやや低目である。中山の紀伊水道北部における海洋観測結果は東部で各層共に19.0°C台、西部では18.0°C台で東部は平均並、西部は0.5°C低目で全般的に各海域各層共平均よりやや低目を示し、前月より3°C内外低下したが前月同様上下の水温差が殆んどみられない。

◎漁況

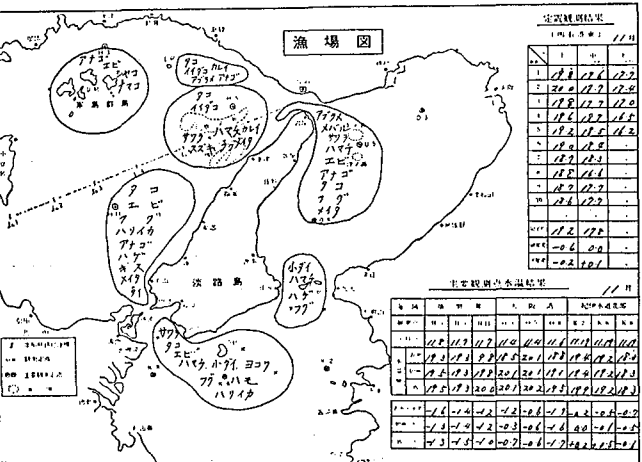
(概況) 前月に引き続き摂津、播磨、淡路東部、同西浦沿岸では愈々本格的なノリ養殖の入手、摘取り、又ワカメの収込作業に従事し、淡路南部海域を除いて出漁船は皆無の状態に漁船漁業は極めて低調である。前月好調であった神戸中、明石瀬戸、鹿の瀬戸辺におけるサワラ、ハマチ、タチウオ漁も水温下降と共に中山には概ね終了、漁場も魚群の外海逸脱とともに紀伊水道北部海域へ移行した。本年秋タコの出現、成育状態が各地共良好で夏場より好漁が持続している。又友ヶ島、由良周辺、和島~潮崎周辺での小ダイ一本釣が前年にくらべかなり好漁である。しかし各地の小形底曳網は冬場を迎え、入網魚種が減少して低調となった。

(各地)

- 明石** サワラ曳網1日1隻2~3尾、目廻り2.5~3.0キロ、キロ当り800~900円。スズキ一本釣1日1隻2~3尾目廻り1.5~2キロ、キロ当り800円各10隻、鹿の瀬戸操業。小形底曳1日1隻メイタカレイ5キロ内外、キロ当り1,500~1,600円タコ15キロ内外、キロ当り300~350円、10隻播磨灘東部操業。
- 東二見** 小形底曳1日1隻マダコ10~20キロ、キロ当り(大)340円(小)230円。イイダコ20~30キロ、キロ当り150円5~6隻地先操業。タコ並1日1隻100~150キロ、キロ当り330~380円5隻操業。アナコ箱1日1隻10~15キロ、キロ当り250~300円2~3隻。採貝1日1隻、ウチムラサキ30~50キロ、キロ当り42円15隻地先操業。
- 岩屋** タコ一本釣1日1隻40キロ内外、キロ当り300円30隻地先操業。キス建網1日1隻20~30キロ、キロ当り450~500円15隻。フグ延縄1日1隻6~7キロ、キロ当り2,200~2,300円、目廻り1キロ内外5隻津瀬川周辺操業。突棒1日1隻ナマコ15~20キロ、キロ当り(赤)700~800円、(青)200円。アナコ箱1日1隻100~120キロ、キロ当り(大)500円5~8隻大阪湾東部操業。小形底曳1日1隻エビ15~20キロ、キロ当り(大)800~850円、中300~350円、(小)100~120円、アナコ30~50キロ、キロ当り200円内外。
- 由良** 小ダイ一本釣1日1隻、15尾内外目廻り400~500グラム、キロ当り1,700~2,000円、友ヶ島、成島周辺70隻操業。ハマチ一本釣1日1隻10~15尾目廻り1.2キロ、1尾400円、友ヶ島水道40~50隻操業。ハゲ一本釣1日1隻30~40尾、キロ当り500円、40~50隻。フグ延縄1日1隻10尾目廻り1キロ内外、キロ当り3,000円。ハモ延縄1日1隻40~60キロ、キロ当り350円、沼島南浦10隻操業。タチウオ曳網1日1隻50~60尾1尾150円、20隻操業。グチ一本釣1日1隻30~40尾体長15~20cm目廻り300~400グラム、キロ当り450~500円地先操業。
- 沼島** 小ダイ一本釣1日1隻5~10キロ、キロ当り750~1,200円、島周辺20~30隻操業。ヨコフ延縄4~5尾目廻り2キロ、キロ当り420~450円、島南部10隻操業。フグ一本釣延縄1日1隻10~20キロ、キロ当り1,400~1,800円、周辺20~22隻操業。
- 福良** 小形底曳網エビ類20~30キロ、キロ当り(大)1,200~1,300円(中)600~700円(小)150~300円。沼島西部40隻操業。サワラ一本釣1日1隻10キロ内外、キロ当り700円目廻り2.4~3.0キロ、潮崎沖40隻操業。タコ一本釣1日1隻14~15キロ、キロ当り(大)250~300円(小)160~200円、湾内30隻操業。ハマチ一本釣1日1隻20~30キロ、キロ当り350円10隻操業。
- 丸山** 小形底曳網1日1隻イカ類30~40キロ、キロ当り140円。アナコ14~15キロ、キロ当り70円。小エビ4~5キロ、キロ当り150円、野門北部10隻操業。磯建網1日1隻メイタカレイ20~25キロ、キロ当り650~700円。ハリイカ5~6キロ、キロ当り150円。オコゼ2~3キロ、キロ当り700円地先8隻操業。タイ五割網1日1隻10~20キロ、キロ当り1,700円。キス建網1日1隻20~30キロ、キロ当り250~260円。タコ一本釣1日1隻10~20キロ、キロ当り180円。

◎今後の見込

- ※ 本年は季節風の吹出しが例年より早く、荒天日も多い予想で、又ノリ養殖の盛況と相まって漁船漁業は昨年を大きく下廻るだろう。
- ※ 本格的な寒波襲来とともにナマコ、イイダコの漁期に入るが現在のところ平均漁は期待できそうである。
- ※ カレイ類、特にメイタカレイは夏場から秋にかけての好天候による乱獲で平均漁をやや下廻るのではないだろうか。(水試 岩井)



Z-3型 待望の魚探機誕生

皆様の漁獲を御約束する
小型から中型までの万能魚探
MODEL-Z-3 I A B C D
Z-3 2 A B C D
二周波魚探も出来ませう

海上電機株式会社

本社 東京都千代田区神田錦町 電話 294-2781
支社 神戸市東灘区明石町3-2 電話 294-4301

魚病あれこれ(その4)

(魚病と水温)

今月は水温と魚の病気に
ついて検討してみよう。
水温はこの養魚場も観測しようと思えば、すぐ出
来。従って、水温の記録
があれば、それを集計し
て見ると、年度により相当
の変化が見受けられる。
特に、環境変化のうらち水
温が魚病に密接な関係をお
よぼす。

水温は気温の変化にも左
右されるから、養魚場が
どんな状態にあるか、水温
変化だけでも観測し、それ
らに基いた養魚管理をして
欲しいものである。

水温で特に注意すべき時
期は

- ① 稚魚期の水温
- ② 夏季の高水温
- ③ 秋季の水温

の三つがある。

以下順次検討して見よ
う。

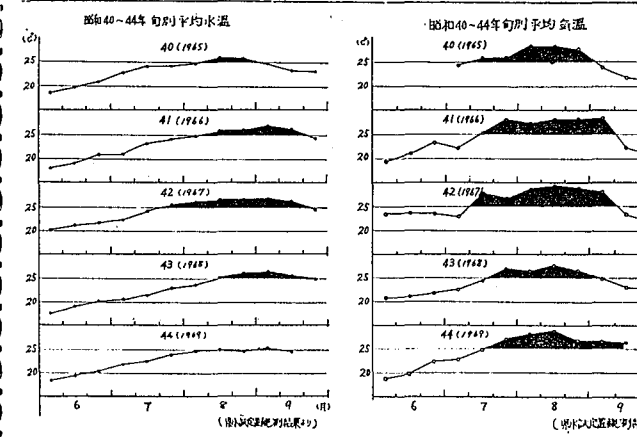
(一) 稚魚期の水温
種苗を南西太平洋沿岸海
域に依存する関係上、四国、
九州方面と内海との水温差
がある。従って、水温の記録
以上の温度差があれば、5°C
以上の温度差があれば、魚
の取扱について細心の注
意を払うことはご承知の筈
である。

(二) 夏季の高水温
梅雨から夏にかけて水温
変化が最も激しいため注意
すべき点が多い。
従って、因に昭和四十
四、四十五年の五カ年の旬別平
均水温、気温の変化を示し
た。

(三) 秋季の水温
因から、各養魚場での魚
類被害が多かった年はど
のような水温を示していた
か判断して欲しい。
梅雨期は塩分濃度が低くな
り、その後、夏の水温上昇
期に入るから、魚は各種の
悪条件に付け込まれ易い時
期に当たる。
特に、因の水温変化から
七月下旬と九月下旬
まで25°C以上水温が上
る年(四十二年)
八月下旬と九月下旬
頃まで25°C以上水温が
上る年(四十四年)
八月の中み水温が25°C
以上になる年(四十
四年)の三つの型が見られ
る。
(気温は水温とは幾分違っ
た型が見られる)
従って、水温観測すれば
本年度はどんな型の変化を
本年度はどの予想され
る。

そこで、養魚業者は水温
変化に基いた養魚管理を行
なうべきである。即ち、水温
に応じて、餌の量の多少、
種類、質等を変えて魚を育
てないといふは、二次的に悪
劣な結果を齎す。
その結果、病的に起因する
微生物に冒されて、魚は

死の道を行く。さらに
以後の魚体の成長にも大き
く阻害する。
夏から秋にかけての水温
の低下は、魚の成長に阻
害すると同時に魚病にも関
係がある。
秋の水温の低下は、魚
類も然し、海水の大循環
量は低いから、溶存酸素
量は低くなる。従って、絶
えず魚の損傷の状態等を観
察する必要がある。
反対に、秋の水温の降
下が徐々に起る年(気温等
の少ない四十四年)は魚も
成長するし、魚病に罹りに
くい。
以上三つの時期について
の魚病と水温との関係を検
討して見たが、
今後、魚の罹病原因につ
いて種々考えられ、それら
の原因が単独に起らず、様
々な原因の合併症として魚
病が発生すると思われ、水
温変化一つでも加われば、養
魚管理を行なって欲しい。
そして、養魚業者が企業



海溝

比較的急斜面によってかまされた細長い深海底の凹地のことを言う。大平洋などの周辺部の弧状の列島や弧状の山脈に平行してつらなっている。海溝はその大部分が6,000メートル以上の深さであって、その面積は全海洋のわずか1.2パーセント程度のものである。

海溝の海底状況の中で、特に詳しく測量されてその形状がよくわかっている盆地のところが海淵(かいえん)と云われ深さ10,000メートル以上のものがよく知られている。

世界の主な海溝およびその中の海淵は次表のとおりである。このような深海にも生物の存在はみとめられるが、それ等については殆ど解明されていない。また、プランクトンは量も極めて少なく古代の原始的な種類が残っているようである。(當)

名	称	水 深
マリアナ海溝	マリアナ海淵	11,034
チャレンジャー海溝	チャレンジャー海淵	10,863
トンガ・ケルマデック海溝	トンガ・ケルマデック海淵	10,882
日本海溝	ラマボ海淵	10,680
フィリピン海溝	フィリピン海淵	10,497
ケープ・ジョンソン海溝	ケープ・ジョンソン海淵	10,400

いつも漁場が一番のり

●主機用 4~1000馬力
●補機用 8~3000馬力

●3J E形/30馬力

ロボマリンディーゼル

大塚製作所

